

舗装劣化対策に 予算確保が必要

足立議員が道路 法改正で質疑

道路法等改正案について質疑が行われた29日の参院国土交通委員会で、足立敏之参院議員は道路舗装の観点からの公共投資予算の確保について質問した。舗装の劣化が進んでいる事例を示し、「『荒廃する日本』になる前に何とか手を打たなければならない」と石井啓一国土交通相にただ



した。

石井国交相は「2013年の道路法改正にあわせたトンネル・橋梁の点検開始を舗装にも拡大し、長寿命化やライフサイクルコストの縮減が図られるよう計画的に取り組んでいる」と説明。「必要な予算確保に引き続き努めていく」と応じた。

また足立議員は、今国会での道路法改正により設ける、道路区域外からの落石や土砂崩れなどへの対応を強化する制度について、その効果を確認した。落石の予兆を発見した地元建設業者によって事故を防いだ高知県での事例を説明した上で、「土砂災害のよ
うな事例は地域に精通した地元業者に任せなければなら
ない」と強調した。